平成　30　年度　　第 4 回政策討論会第三分科会要点記録

日　時　　平成 30 年 10 月 23 日 （火）午前 10 時 00 分～11 時 30 分
場　所　　第一委員会室
出席者　　井上　博（座長）
　　河合　馨（副座長）
　　桒原　佳一
　　京西　且哲
　　松本　妙子
　　岡林　憲二
　　井上　源次
　　中井　良介

討論テーマ　『子供のスポーツ環境について』
　学校でのクラブ活動や地域のスポーツクラブが抱える課題の解決について討論する。

◎ 議論すべき課題はたくさんあるが、政策討論会の残り時間が少ない中で、できることは外部指導員、部活動指導員のことではないか。また自分でも調べてみたいと思う。
ガイドラインはいいことを書いており、その通りだと思うが、実行の手だてが乏しい。
外部指導者に報酬を支払うにも予算の出所がない（部活動指導員については文科省の予算が付いたと教えてもらった。）部活動の予算も保護者から徴収している生徒会費を充てており、公費は入っていない。
◎ 本市でも部活動クラブ活動の外部指導者や部活動指導員がもっと導入されるよう取り組んでほしい。
◎ ますます進む少子化によって、中学校では生徒の人数が減り、運動部活動の部員が足りないために成り立たない事案が多く、また教員の減少により部活動の顧問をする、教員の負担増も問題になっている。
競技経験の少ない教員が顧問を務めざるを得ないケースもあり、指導を受ける子供たちにとっても決していい環境とは言えない。
現状を見ると、従来の形での運営ではやがて限界を迎える。各学校においては、学校全体での活動目標、指導方針、計画及び、効果的な方針・内容を早急にすべきであり、体制整備をはかり適切な運営指導を実施しなければならない。

安易な外部指導員の協力確保ではなく、生徒のニーズや保護者の要望などを充分に検討し、運動部活動の在り方や総合的なガイドラインについて、学校長、教育委員会が早期に取り組み推進されることを期待する。

◎ 「座長より」皆さんのご意見の共通認識としては

① 中学校のクラブ活動の現状を考えれば、外部指導員の導入も必要である。

② 多様なスポーツを楽しめる環境づくりが必要である。

③ 多様なスポーツ環境との意味では、地域スポーツクラブの充実が必要である。

等思います。

今後は、以上の 3 点を中心にその提言内容を造っていきたいと思います。

◎ 今年度のテーマは我が国が抱える課題であるため、一定の改正方針を国が示した。

本市教育委員会は、早急に子供たちのスポーツ環境の改善に着手すべきである。

先ず、中学校の運動クラブ活動の位置付けと環境改善に向けた方針を明確にし、その取組み方について研究すべきである。

また、外部指導員の受入れの細部規定や、地域のスポーツ団体との連携での施設確保や利用条件など、実施に当たっては課題が多項目になるため、一日も早く取り組むことを求める。

◎ 本年は、討論についての期間が短いとはいえ、まだまだ議論が進んでいないと感じている。

外部指導者の在り方、教育委員会や学校の校長や現場の状況・考え等について、問題点を掘り起し討論会で議論すべきだと思う。

日程で厳しければ、月 2 回以上の討論会も考慮し、当分科会の政策討論を議論していくことを求める。

◎ それでは、今後は『教育委員会や学校の校長や現場の考えなどについての問題点を掘り起こしていく』という方向性で行きたいと思います。